

# 「女子中高生夏の学校 2023 ～科学・技術・人との出会い～」参加レポート

国立遺伝学研究所 佐々木 真理子

2023年8月5日～7日に、埼玉県国立女性教育会館で「女子中高生夏の学校 2023」が対面で開催されました。東京工業大学の藤泰子さん、国立遺伝学研究所の市原沙也さん、株式会社Gakkenの庄司日和さんと佐々木が、二日目の8月6日に参加し、ポスター発表を行いました。多くの女子中高生がポスターを聞きにきてくれ、遺伝学とはどういう学問なのか、大学ではどのような学部に進めば遺伝学を学べるのか、遺伝学を学んだらどういう謎が解決できるのかについて説明し、日本遺伝学会で活躍する女性のロールモデルについても紹介しました。

ポスターを聞きにきてくれた生徒たちは、遺伝学について疑問に思っていることを質問してくれたり、進路について悩んでいることを相談してくれたりもしました。また、「遺伝学を学んだら研究者以外ではどういう仕事につけるのか想像ができない」、「研究者って一体何をしているのかわからない」など率直な意見も聞くことができ、中高生たちの理系進学を勧める際には、そういう基本的なところを紹介して、研究職に親しみをもってもらうことも大切なのではないかと感じました。

また、2冊と数量限定ではありましたが、遺伝学会会員の岩崎博史先生（東工大）の著作「池上彰が聞いてわかった生命のしくみ 東工大で生命科学を学ぶ」のサイン入り本（池上彰先生、大隈良典先生のサインもあり）を希望者に配布しました。これを読んでさらに遺伝学や生命科学への興味が深まることを期待しています。

